

Rotary 

国際ロータリー
第2620地区

御殿場
ロータリー
クラブ **週報**



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

<https://www.gotemba-rc.jp/>

第2651回 例会プログラム

- 例 会 場／名鉄菜館
- 開 会 点 鐘／12：30
- ロータリーソング／我等の生業
- 内 容／ガバナー補佐訪問 太田義隆ガバナー補佐

会 員 慶 事

- 会員誕生日／4月18日 菅沼良将君
- 夫人誕生日／4月20日 小野寛幸君 ご夫人 玉枝様
4月20日 勝又英和君 ご夫人 希志子様
- 結婚記念日／4月17日 橋本喜市君 晃実様 ご夫妻

会 長 挨拶



橋 本 喜 市

2月24日に始まった、ロシアによるウクライナ侵攻については毎日のテレビニュースや新聞に載らない日はなく、悲惨な状況を目にし怒りを感じます。ウクライナについて、これまで余り知識がありませんでしたが、農業大国で、ヨーロッパ第二の面積を持ち歴史的にも波乱に満ちた国で、技術的・戦略的にも重要性をもつ国だと少しずつ理解してきました。

ウクライナでのロータリークラブはどうなのでしょう。現ウクライナ国境内で最初のロータリークラブは、1930年代に加盟承認されたウジゴロド、チェルノフツィ、リヴィウの3つのロータリークラブです。第二次世界大戦中、戦争地域のロータリークラブは解散し、冷戦中には共産圏のクラブも解散を余儀なくされました。ソ連の崩壊後、欧州と北米の複数のクラブが旧ソ連内でのロータリーの復活を模索しました。

そこで重要な役割を果たしたのが国際ロータリー現CEO兼事務総長のジョン・ヒューゴ氏の父、ルボミール・ヒューゴさんでした。ルボミールさん家族は、第二次大戦中にウクライナを逃れ米国に移住。長年を経てアメリカミシガン州のクラストン・ロータリークラブの会長になり、ウクライナの病院への医療物資の寄贈や、 Cholnoyevyri 原発被災者の支援など、数々の奉仕プロジェクトを実施しました。1991年のウクライナ独立後には、首都キーウで初のロータリークラブ設立を援助し、息子であるジョン・ヒューゴ氏が同クラブの創立会員と

なりました。

1990年代初期、ウクライナは、ほかの旧ソ連国およびフィンランドの一部とともに第1420地区に属しましたが、その後も数回にわたり地区再編が行われ、2000年7月1日にウクライナとベラルーシがポーランドを含む第2230地区に統合されました。これら3国でロータリーは順調に成長し、2016年7月に同地区は第2231地区（ポーランド）と第2232地区（ウクライナとベラルーシ）に分割されました。2014年のロシアによるクリミア併合、ドネツク州とルハンスク州での武力紛争により、ウクライナでのロータリーの発展がさまたげられました。クリミアや現在ロシア占領下にあるドンバス地方には、2013年には7つのクラブがありましたが、今は2つのクラブのみです。

ウクライナの他の地域では、紛争勃発以来、多くの新会員が入会し、確実に成長して、人道的活動や被災地支援に携わろうとする国民の強い決意が弱まることはなく、2014年以来、クラブ数は49から62に増え、6つの衛星クラブも設立され、会員も1,100人に増え、今後も成長し続けると同国の会員は確信しています。これは、あくまで今のロシア侵攻前のことです。



4/7の出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
54名	51名	45名	88.24%	100%

欠席者（6名）

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。



SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

次 回
4月21日の
例 会

★東山荘記念館
★12：30点鐘
★国際奉仕について
長田富夫君



PETS報告

会長エレクト

勝又 誠君

今年度のPETSは3月21日(月/祝日)に、昨年に続きオンラインで開催され、私と井上君が出席しました。PETSはプレジデント・エレクト・トレーニング・セミナーの略で、会長エレクトは必ず出席しなければなりません。

2022~2023年度の国際ロータリーの会長は、カナダ・オンタリオ州ウィンザー・ローランドRC所属のジェニファー・ジョーンズ氏で、国際ロータリー117年の歴史で初めての女性会長です。RI会長テーマは「イマジネーションロータリー」で、「世界にもたらすことのできる変化を想像してください。そして、その実現のためにロータリーの力と繋がりを活かしましょう」と呼びかけました。

一方、第2620地区のガバナーは静岡RC所属の浅原諒蔵氏です。地区の運営方針は「絆を深めて、ロータリー活動を再開しよう」で、「親睦活動を通して絆を深め、コロナによって思うに任せなかったクラブ独自の奉仕活動を再開させよう」という大変身近に感じられるテーマです。

次に、高野孫左衛門パスト会長による「ロータリーの多様性、公平性、インクルージョンの取り組み」という当日のメインプログラムと思われる講話がありました。まず、「会長の責任はクラブを前年度より元気にし、充実

させて次年度に渡すことです」に始まり、元気なクラブとは「会員増強・維持」「地域で奉仕プロジェクトを実施」「財団支援」「クラブを超えて指導者の育成」の4つに積極的に取り組むものであり、そのための道具として地区には「ロータリーの補助事業」「米山記念奨学会事業」「青少年交換事業」の3つが用意されているので活用しようとの話でした。

また、「ロータリーの目的」は個人の利益から社会の豊かさの実現へと変化し、個人の行動から周りを巻き込んでの活動へと変わってきました。そのための指針としてDEIに取り組むとのことで、DEIの説明がありました。

D:ダイバーシティ…多様性…職業の多様性、女性会員の増強

E:イクイティ…公平性…他者を尊重し、サポートする

I:インクルージョン…包摂性…温かく迎え入れ、大切に

午後は8グループに分かれてのミーティングです。「女性会員が相変わらずいないのはなぜですか」と聞かれまして、「拒否もしていないし、積極的でもない。適任者があがってこないから」と答え、「女性会員の加入は多様性を広げると思うが、職業分類が多いことで多様性が担保されるとは思わない」と発言してみました。が反応はありませんでした。

またグループ毎にまとめて奉仕事業をやってほしいという地区の方針がでまして、第2グループでは「富士山に関係する環境保護」で計画したいとのことでした。「環境保護」はロータリーの6つのプロジェクトに追加されたプロジェクトです。



退会挨拶

鈴木善明君

会社の人事異動に伴い、2月末にて御殿場ロータリークラブを退会しました。移動例会等、感慨深い思い出が多くあります。5年に渡り、皆様には大変お世話になり有り難うございました。今後の皆様のご健勝と御殿場ロータリークラブの益々のご発展を祈念いたします。

4/7のスマイル

事務局として1年が経ちました。失敗しても温かく見守ってくださりありがとうございます。これからもよろしくお祈りいたします。遠藤舞さん



司会
久保田勇輝君



出席報告
中溝敬之君



幹事報告
渋谷一君



会員誕生日
勝又敏雄君



会員誕生日
大胡田明寿君



会員誕生日
鎌野篤志君



皆出席
齊藤礼志君



皆出席
勝又厚君

Rotary 国際ロータリー第2620地区

御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日
○例会場・事務局/YMCA 東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会 長○橋本 喜市
幹 事○渋谷 一
会報委員長○長島 和彦